

第41期 経営事業計画

(2007年8月1日～2008年7月31日)

上陽工業株式会社は、41年目の決算期に入るに際し、前期に発生した多くのマイナス部分への反省を十分に踏まえ、新たなに意を決し「原点回帰」を全社テーマとして、本来あるべき「業(なりわい)」の原点にこだわり、日々の営業活動に対して、真摯かつ愚直に取り組んでいかなければならない。

業界の厳しい現状、社会的な逆風、全員一丸、不退転の決意、存在感ある企業、挑戦を継続、実績の積み重ね、企業の社会的責任(CSR)など、様々なキーワードを気にしながら、改善を繰り返して成果を出して業務を遂行していきたい。

「JOYO再生3ヵ年計画」～ふりだし(スタート)に戻る～

前期は、現状からの打破を試みた1年目を受け、具体的に結果を出すべき3年目にバトンを渡す重要な再生計画2年目でした。しかし本当にプロの自覚と責任を持ち続けての仕事ができていたのだろうか？ 公取談合損害賠償問題、複数作業所での大きな欠損や火災・労災事故の連続、それらによる社内での信頼感の欠如など…。悪循環を断ち切るのは個人個人ができる基本の徹底、およびしっかりと考えた上での行動姿勢しかありません。再度、ふりだしからやり直しの年です。「新JOYO再生3ヵ年計画」元年！

1. どんな時でも、常に“考える”を実践する。
2. 会社事を自分事として全員が真剣に考える。
3. 原価管理・品質管理・安全管理・健康管理をあらためて考える。
4. ほう・れん・そう(報告・連絡・相談)をあらためて考える。
5. PDCAサイクル(計画・実施・反省・行動)をあらためて考える。

管理本部・・・営業・財務・組織・教育
建設事業部・・・原価・品質・工期・安全
鉄構事業部・・・原価・品質・納期・安全
環境事業部・・・体制・原価・営業・企画

2007年 ISO9001 「品質方針および品質目標」

「技術力と信頼を基に、お客様の豊かな生活環境を創造し継続的な改善をする」

- 管理本部・・・1. 信頼につなげる迅速なクレーム対応による顧客の拡大
建設事業部・・・1. 計画利益率1%UP
2. 無駄な労力やミスの排除
鉄構事業部・・・1. 製品不具合5ヶ所以内(1現場につき)
2. 現場品質パトロールの実施強化

(文責)

上陽工業株式会社
上野勝弘